



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日 東

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所
 コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 細川悦男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 総務・経理統括兼経理本部本部長 (氏名) 井上鉄也 (TEL) 072-855-2225
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	31,856	△0.7	2,083	181.2	2,085	134.9	1,431	164.4
27年9月期第3四半期	32,069	0.2	740	△15.6	887	3.1	541	△1.5

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 △1,888百万円(-%) 27年9月期第3四半期 1,069百万円(△15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	34.21	34.09
27年9月期第3四半期	12.94	12.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	47,146	27,817	58.8
27年9月期	50,714	30,323	59.7

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 27,733百万円 27年9月期 30,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年9月期	—	7.50	—		
28年9月期(予想)				10.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年9月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 2円50銭

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△3.9	3,100	26.5	3,100	17.1	2,100	△16.8	50.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会社方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年9月期3Q	43,076,347株	27年9月期	43,076,347株
28年9月期3Q	1,218,424株	27年9月期	1,211,304株
28年9月期3Q	41,862,082株	27年9月期3Q	41,864,048株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国をはじめ東アジアでは緩やかな景気減速が見られたものの、総じて緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、英国の国民投票によるEU（欧州連合）離脱の結果を受け、先行き不透明感が強まり、当面はリスク回避的に動くことが予想されており、特に設備投資マインドが急激に委縮していく可能性も否定できません。

このような経済環境の中、急激な円高により、当第3四半期連結累計期間の受注高は358億1千3百万円（前年同期比4.5%の減少）、受注残高は191億2千5百万円（前年同期比10.5%の減少）、売上高は318億5千6百万円（前年同期比0.7%の減少）となりました。

利益面におきましては、収益率の改善や経費削減の効果などにより、営業利益は20億8千3百万円（前年同期比181.2%の増加）、経常利益は20億8千5百万円（前年同期比134.9%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億3千1百万円（前年同期比164.4%の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<粉体関連事業>

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

自動車関連向けを中心に、一部に活発な投資を行っている市場があるものの、全般的に大型案件を中心に受注の決定が遅延していることに加え、円高の影響により、受注高、受注残高ともに減少となりました。

これらの結果、受注高は257億2千5百万円（前年同期比3.9%の減少）、受注残高は132億2百万円（前年同期比8.2%の減少）となり、売上高は234億1千4百万円（前年同期比1.4%の増加）となりました。セグメント利益は16億1千5百万円（前年同期比45.6%の増加）となりました。

<プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

アメリカ市場向けが引き続き好調に推移したことに加え、中国やイランなどの新興国向けの成約により円高部分を吸収し、受注高、売上高、セグメント利益は大幅に増加しました。

これらの結果、受注高は100億8千7百万円（前年同期比13.7%の増加）、受注残高は59億2千2百万円（前年同期比0.1%の増加）となり、売上高は84億4千1百万円（前年同期比16.1%の増加）となりました。セグメント利益は12億5千6百万円（前年同期比80.9%の増加）となりました。

当社グループは「製菓関連事業」を構成しておりましたHosokawa Bepex GmbH（ドイツ）の全株式を平成27年9月30日付で売却しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、「製菓関連事業」を報告セグメントより除外しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、受取手形及び売掛金や有形固定資産の減少などにより35億6千7百万円減少し、471億4千6百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少や借入金の返済などにより10億6千1百万円減少し、193億2千9百万円となりました。純資産は、主に為替が円高に振れたことによる為替換算調整勘定のマイナスが大きくなったことにより25億6百万円減少し、278億1千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,017	11,830
受取手形及び売掛金	11,652	9,261
有価証券	119	—
製品	1,748	1,957
仕掛品	2,278	2,564
原材料及び貯蔵品	2,325	2,188
繰延税金資産	460	445
その他	2,062	1,167
貸倒引当金	△164	△173
流動資産合計	30,500	29,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,325	15,575
機械装置及び運搬具	9,965	8,995
土地	4,555	4,306
建設仮勘定	50	108
その他	1,948	1,792
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,365	△15,127
有形固定資産合計	17,480	15,651
無形固定資産		
のれん	206	165
その他	269	184
無形固定資産合計	475	349
投資その他の資産		
投資有価証券	1,188	988
繰延税金資産	639	665
その他	439	259
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,258	1,904
固定資産合計	20,214	17,905
資産合計	50,714	47,146
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,974	4,087
1年内返済予定の長期借入金	1,724	423
未払費用	2,328	2,281
未払法人税等	278	311
繰延税金負債	100	153
前受金	2,561	3,707
賞与引当金	351	178
役員賞与引当金	58	27
製品保証引当金	434	490
ポイント引当金	35	43
その他	1,309	1,013
流動負債合計	14,158	12,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
固定負債		
長期借入金	1,802	2,573
退職給付に係る負債	4,222	3,837
繰延税金負債	37	71
その他	170	127
固定負債合計	6,233	6,610
負債合計	20,391	19,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,148	5,148
利益剰余金	14,771	15,575
自己株式	△913	△917
株主資本合計	33,503	34,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	△179
繰延ヘッジ損益	△19	△0
為替換算調整勘定	△2,820	△5,928
退職給付に係る調整累計額	△574	△461
その他の包括利益累計額合計	△3,249	△6,569
新株予約権	69	83
純資産合計	30,323	27,817
負債純資産合計	50,714	47,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	32,069	31,856
売上原価	21,191	20,649
売上総利益	10,877	11,206
販売費及び一般管理費	10,136	9,123
営業利益	740	2,083
営業外収益		
受取利息	22	28
受取配当金	16	19
持分法による投資利益	57	35
為替差益	90	—
訴訟関連費用戻入額	—	31
その他	49	49
営業外収益合計	235	165
営業外費用		
支払利息	29	23
為替差損	—	56
デリバティブ評価損	—	36
その他	59	47
営業外費用合計	88	163
経常利益	887	2,085
特別利益		
固定資産売却益	4	61
特別利益合計	4	61
特別損失		
固定資産処分損	3	7
特別退職金	18	—
100周年記念費用	—	68
特別損失合計	22	75
税金等調整前四半期純利益	869	2,071
法人税等	328	639
四半期純利益	541	1,431
親会社株主に帰属する四半期純利益	541	1,431

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	541	1,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	△343
繰延ヘッジ損益	7	19
為替換算調整勘定	195	△3,108
退職給付に係る調整額	58	113
その他の包括利益合計	527	△3,320
四半期包括利益	1,069	△1,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,069	△1,888
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,089	7,270	1,709	32,069	—	32,069
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	—	357	360	△360	—
計	23,092	7,270	2,066	32,430	△360	32,069
セグメント利益又は損失 (△)	1,109	694	△264	1,539	△798	740

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△798百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	23,414	8,441	31,856	—	31,856
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,414	8,441	31,856	—	31,856
セグメント利益	1,615	1,256	2,872	△788	2,083

(注) 1 セグメント利益の調整額△788百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「製菓関連事業」を構成しておりましたHosokawa Bepex GmbH(ドイツ)の全株式を平成27年9月30日付で売却しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、「製菓関連事業」を報告セグメントより除外しております。